

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年11月16日(2022.11.16)

【公開番号】特開2020-151367(P2020-151367A)

【公開日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2020-039

【出願番号】特願2019-55314(P2019-55314)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 5/04 6 0 2 A

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月8日(2022.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光する所定のLEDが実装されているLED実装基板を内部に備えた入力装置と、

前記LED実装基板を固定する固定部材と、

表示窓を有する扉と、

リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を

回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリ

ールと、

前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、

複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品とを備え、

前記所定のLEDの高さより、前記所定のLEDと同一面に突出している前記固定部材の突出している部分の高さの方が高く、

複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上方で固定されており、

前記所定の係止部品の長手方向の長さmと、前記所定のリールを構成する前記リールテープの頂部から前記リールユニットの上部内壁までの垂直距離nと、の関係が $m > n$ となつてあり、

前記所定の係止部品の長手方向の長さmと、前記扉が施錠されている状況における前記所定のリールの最前部と前記表示窓との最短距離bと、の関係が $m < b$ となっていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

## 【 0 0 0 5 】

発光する所定の L E D が実装されている L E D 実装基板を内部に備えた入力装置と、

前記 L E D 実装基板を固定する固定部材と、

表示窓を有する扉と、

リールテープと、前記リールテープが巻き付けられるリール基部と、前記リール基部を回転させるモータと、前記モータが固定されるモータ固定ベースと、を少なくとも含むリールと、

前記リールが複数個並列に固定されているリールユニットと、

複数の前記リールを前記リールユニットにそれぞれ固定するための複数の係止部品と備え、

前記所定の L E D の高さより、前記所定の L E D と同一面に突出している固定部材の突出している部分の高さの方が高く、

複数の前記リールのうち所定のリールと、前記リールユニットと、が前記複数の係止部品のうち所定の係止部品によって前記所定のリールを構成する前記リールテープよりも上方で固定されており、

前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記所定のリールを構成する前記リールテープの頂部から前記リールユニットの上部内壁までの垂直距離 n と、の関係が  $m > n$  となつてあり、

前記所定の係止部品の長手方向の長さ m と、前記扉が施錠されている状況における前記所定のリールの最前部と前記表示窓との最短距離 b と、の関係が  $m < b$  となつていることを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50